

科目	情報処理I (Information Processing I)		
担当教員	増田 興司 講師		
対象学年等	応用化学科・3年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A3(100%)		
授業の概要と方針	パソコンを用いて、情報処理の活用法や応用法までを演習する。また論理的な考え方の土台となるプログラミングの基本(考え方、変数、データ型、制御、アルゴリズム)を習得する。BASICやVBAでのプログラミング実習を通してプログラミングの基本を身につける		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A3】情報処理にかかわるハードウェア、ソフトウェアに関する基礎的な知識および情報倫理に関する知見を習得する。		ハードウェアの構成要素やソフトウェアおよび情報倫理に関して理解出来ているかを定期試験で評価する。
2	【A3】パソコンの基本操作、インターネットによる情報収集の方法を習得する。		インターネットによるキーワード検索で情報収集の演習を行い評価する。
3	【A3】収集した情報をもとに、質の良い情報への加工法を習得し、報告書を作成できるまでを習得する。		情報整理の演習と報告書作成を行い、演習および報告書で評価する。
4	【A3】プレゼンテーション用ファイルを作成することができる。		簡単な課題を作成し、パワーポイントでのプレゼンテーションファイル作成を演習および報告書で評価する。
5	【A3】プログラミングの考え方(基本構造、データ型、流れ図、簡単な論理演算)を習得する		プログラムの基本構造を作成できるか、データ型の種類を理解しているか、プログラムと対応した流れ図が作成できるか、かんたんな論理演算ができるかなどを定期試験で評価する。
6	【A3】簡単なプログラムをBASICで構築し、実行する方法を習得する。		プログラムが作成できるかどうかプログラミング演習で評価する。
7	【A3】プログラミングを他の言語でも応用できる考え方を身につける。		講義で使用したBASIC以外の他言語(Fortran, VBAなど)でもプログラミング作成ができるかどうか、演習および定期試験で評価する。
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験30% 演習40% 報告書30%として評価する。試験成績は定期試験の成績とする。総合評価60点以上で合格とする。		
テキスト	情報基礎テキスト(神戸高专) 「改訂新版 これから始めるプログラミング基礎の基礎」 谷尻かおり (技術評論社)		
参考書	「Open the Windows III」: S & Y. Kuroda (T-Byte) 「Excel VBAによる化学プログラミング」: 佐藤寿邦・佐藤洋子 (培風館)		
関連科目	情報基礎, 情報処理II		
履修上の注意事項			

